

令和8年度都立福生高校 定時制課程における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	基礎学力の定着	・生徒の理解度に即した授業内容を実施する。 ・漢字の書き取りの機会(授業内、小テスト等)の充実を図る	表現活動(主に書くこと)において一人1台端末を効果的に活用する。
数学	基礎学力の形成	授業ごとに生徒の理解度を確認し、理解度に即した授業内容の形成を行う。	生徒が協力して問題を考察する時間を増やし、主体的に問題に取り組む力を育成する。
英語	音読またはプレゼン指導の充実	授業内に数回音読テストまたはプレゼンを適宜実施する。	プレゼン等年に数回、一人1台端末を活用する。プリント演習はteamsを通じて連絡、作業をさせる
地歴公民	主体的・対話的に生徒が学ぶ態度を形成する。	授業ごとに資料の読み取りやグループワークを行う。	学期ごとに一人1台端末を活用した学習内容の発表を実施する。
理科	生徒が主体的に取り組む学習活動の充実	一人1台端末を活用した発表活動を行う。	発表活動の際に生徒相互での評価を行い、生徒自らが学習に取り組む意欲を高める活動を行う。
保健体育	生涯にわたって運動を継続する能力を育てる。①主体的・対話的に生徒が学ぶ態度を形成する。	①身体活動の楽しさを味わい運動量を確保して体力の向上を図る。②安全公正協力などの態度を養う。③生涯を通じて継続的に運動できる能力を育てる。④健康・安全について理解を深める。	①主体的・対話的で深い学びを実現する。 ②男女共修を実現する。
音楽	音楽表現の創意工夫	音楽の表現方法を自ら考えさせる授業を行う。	単元のまとめごとにグループで音楽の表現方法を相互点検させる。
美術	美術表現の創意工夫	美術の表現方法と意図を作品に表現させる。	単元のまとめごとにグループで作品を相互評価させる。
家庭科	生活産業の各分野について自ら考える力をつける。	・生活産業の各分野の技術を身に付ける ・生活産業や職業に関する課題を発見させる。	生活産業や職業に関する課題をグループで考えさせ、発表させる。
情報	「問題の発見・解決学習の充実」	・各単元で問題点を考えさせる授業を行う。 ・各単元のまとめでグループで課題解決の方法を協議し、発表させる。	各単元でオンラインを活用した専門的な学びを行う。